

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【1】 男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進</p>
-------------	----------------------------------

<p>施策の内容</p>	<p>子どもが発達段階に応じて人権尊重や男女共同参画への理解を深めることができるよう、男女共同参画の視点に立った学校運営や教育、学習、保育を充実させます。</p>
--------------	---

11		数値目標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 人権や男女共同参画に関する研修等に積極的に参加し、その学びを園内研修にも取り入れ、職員全体の意識向上につなげる。 日々の保育において人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育・保育を進めていく。 男女共同参画のモデルとしての研究事業を行い、保護者参加の家庭教育講座の開催など積極的に行っていく。 人権課と連携を取りつつ男女共同参画のモデル施設を丸亀市保育所等ブロック会から、1ヶ所選出し、保護者参加の家庭教育講座、行事での開催など研究事業を行っていく。 							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 人権や男女共同参画に関する研修の機会を持つ。（年間1回以上参加） 子どもたちの年齢に応じて、人権(生命の尊さ、障がい、異文化、男女など)について、日々の保育の中で様々な場面を捉えて分かりやすく伝えていく。 男女共同参画のモデルとして、すべての施設において向上に努め、保護者への啓発に力を入れていく。 年6回保護者参加の集会を計画し、保護者への啓発に努める。 男女共同参画のモデル施設は、できるだけたくさんの保護者が参加できるような事業を計画し、年1~2回開催する。 							
R元事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 人権や男女共同参画に関する研修に年間1回以上参加した。 集団生活の中における、個々のよさや可能性を大切にされた保育を進めていった。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が研修を受けることで、同じ認識をもち意識が高められている。 一人一人を大切にされた日々の保育を通して、子どもの人権意識や男女共同参画の視点に立った取り組みがなされている感じる。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達年齢に応じた取り組みが積み重ねられているので、引き続きその取り組みが生かされるように、職員や子ども・保護者など、全体に広がるように工夫していく。 							

12		数値目標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重や男女共同参画への視点に立った理解を深めるために、児童生徒の発達段階に応じ、各教科や特別活動、学校教育全体を通して身近な教育環境を整える。 ・校長会や教頭会の中で、セクシュアル・ハラスメント防止についての指導を行うとともに、各小・中学校に相談窓口となる教員を、児童・生徒、教員の別に設ける。 							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の年間計画に人権尊重や男女共同参画の視点を取り入れ、身近な具体例を挙げて、正しい行動が取れるようにする。 ・校長会や教頭会の中で、セクシュアル・ハラスメント防止についての指導を年間を通じて複数回行う。 							
R元事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点に立った授業が行えるように、教材の開発を行った。 ・校長会や教頭会において、セクシュアル・ハラスメントの防止について指示・指導を行った。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校において、管理職だけでなく、学校全体の教職員が男女共同参画に対する意識が高まった。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒・教職員が日常において男女共同参画に対する意識をもち、浸透させることが課題。 							

施策の内容	教職員や保育士が、男女共同参画の理念とジェンダーに関する理解を深められる機会を提供します。
-------	---

13		数値目標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園・こども園の保育者が研修等に積極的に受講できるよう配慮することにより、男女共同参画の理念とジェンダーに関する理解を深めていく。 							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の理念とジェンダーについての理解と認識を深める研修を実施する(2名以上) ・ジェンダーに関する研修に職員が参加するとともに、園内研修としてジェンダーに関するテーマを設け、職員間で話し合う機会や関係する教材・書籍からも、身近なこととして感じられるようにする。 							
R元事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会において、各施設2名以上の参加をした。 ・園内研修において、ジェンダー等についてのテーマを設定し、話し合う機会をもった。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を積み重ねてきていることで、身近なこととして捉えられており、正しい認識のもと保育が進められている。保護者においても適切な理解が浸透してきているように感じる。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体の意識向上につながるように継続的に研修会に参加していく。 ・認識と実践にずれがないかを常に振り返りながら、積極的に取り組んでいく。 							

14		数 値 目 標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画研修の周知を職員へ行う。 ・LGBTに関する研修を行う。パンフレットの配布による啓発を行う。 							
R元事業計画に関する 具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の丸亀市人権・同和教育主任研修会において、LGBTに関する研修を行い、全ての教職員が知識を深め、児童・生徒にきちんと指導できるようにする。 ・8月の男女共同参画研修にできるだけ多くの教員が参加できるように校長会・教頭会で依頼する。 							
R元 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・丸亀市人権同和教育主任研修会において、LGBTに関する研修を行い、人権・同和教育主任から各小中学校の教職員への指導・確認を行った。 ・男女共同参画研修に積極的な参加を要請した。 							
目指すま ちの姿に 対して、 事業実 施により 得られ た効果	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの配布や研修の実施により、教職員のLGBTに対する知識が深まってきた。 							
事業の実 施状況 を踏ま えた課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の知識や理解を深めていくために、LGBTに関する研修を今後も実施し、具体的な対応や指導につながる資料を作成・配布していく。 							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【1】 男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進</p>
-------------	----------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
<p>幼保運営課長</p>	<p>B⇒ B</p>	<p>全職員が研修を受けることができたことにより、保育士等が共通認識をもち保育を進めることができていた。そのことにより、保護者においても適切な理解が浸透してきているため。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>B⇒ B</p>	<p>校長会や教頭会において、セクシュアル・ハラスメント防止や、学校現場における相談窓口を、児童・生徒・教員の別に設けるよう指導することで、問題に対して素早く対応できるようになってきた。また、教材を開発し、教職員に対する研修で紹介することで、男女共同参画社会への認識を高めることができた。</p>

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	<p>今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください</p>

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【2】 男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進</p>
-------------	--

<p>施策の内容</p>	<p>子どものころから、家庭生活を基盤とした人生設計と、生涯の仕事やキャリアについて学び、考える機会を提供します。</p>
--------------	---

15		数値目標	現状値	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
担当課	学校教育課								
R元事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において地域の事業所等を訪問し、職業について考える機会をもつ。 ・中学校において職場体験活動を実施し、勤労観や職業観を育成する。 								
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において地域の事業所等訪問を実施する。(17校) ・中学校において職場体験活動を年間計画に位置付け、実施する。(6校) ・事業所訪問や職場体験活動では、事業所選択の際に男女共同参画の観点を意識するよう各校に依頼する。 								
R元事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において地域の事業所等訪問を実施した。(17校) また、中学校において職場体験活動を年間計画に位置付け、実施(6校)するだけでなく、振り返りを行ってもらい、職業選択の幅を広げるように指導した。 								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が自立に向けての基盤となる資質・能力の育成に向け学ぶ貴重な機会を得ることができた。 								
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課は、学校現場に対し、各学校の実情に応じた中で積極的な働きかけを行っていく必要がある。 								

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【2】 男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進</p>
-------------	--

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
<p>学校教育課長</p>	<p>B⇒ B</p>	<p>小・中全校で事務所訪問や職場体験学習を行うことができ、そのねらいのなかに男女共同参画の視点を取り入れるよう各学校に周知・指導を行うことで、男女共同参画の視点に立った進路指導やキャリア教育の充実を図ることができた。</p>

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	<p>今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください</p>

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【3】 男女共同参画の推進に向けた学習機会の提供</p>
--------------------	--

<p>施策の内容</p>	<p>男女がともに、社会の様々な事柄を男女共同参画の視点で理解し、豊かに生きる力を養うことができるよう、また、家庭や地域において、男女共同参画の視点を持って子どもを教育することができるよう、情報や学習機会を提供します。</p>								
<p>16</p>	<p>《指標》 男女共同参画を推進する講演会や講座、セミナーなどの開催回数 ※()は当該年度の目標値</p>								
<p>担当課</p>	<p>人権課男女共同参画室</p>	<p>数値目標</p>	<p>H28</p>	<p>H29</p>	<p>H30</p>	<p>R元</p>	<p>R2</p>	<p>R3</p>	<p>目標値</p>
			<p>年6回</p>	<p>(年8回) 年10回</p>	<p>(年8回) 年7回</p>	<p>(年9回) 年8回</p>	<p>(年9回)</p>	<p>(年10回)</p>	<p>年10回</p>
<p>R元事業計画</p>	<p>①男女共同参画セミナー（テーマ：子育て世代の男性料理教室）の開催。 ②男女共同参画モデル保育所による取り組みへの支援。</p>								
<p>R元事業計画に関する具体的な目標</p>	<p>①キッズウィーク連動企画として1回以上開催。合計で6回開催（未実施コミュニティで開催できるように） ②男女共同参画モデル保育所での男女共同参画講演会開催1回。男女共同参画モデル保育所の活動紹介を市ホームページなどで3回以上実施。</p>								
<p>R元事業実績</p>	<p>①子育て世代の男性料理教室を4回開催（116名参加）。キッズウィーク連動の開催は実現しなかった ②1/24実施の家庭教育講座において、家庭で伝えるいのちの話（誕生学）の講座を実施（年中・年長児とその保護者等90名参加）。保護者参観、生活発表会においても啓発活動を実施。モデル保育所の活動紹介を市HP上で2回、情報紙『ゆめ』におけるアンケート協力の結果を1回掲載</p>								
<p>目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果</p>	<p>モデル保育所において年間を通じて活動することにより、保護者だけでなく保育所で勤める職員の意識醸成にも効果的であったと考える。モデル保育所の終了後も啓発意識を持っていただけた（継続して啓発掲示をしていただけたとのこと）</p>								
<p>事業の実施状況を踏まえた課題</p>	<p>料理教室への参加者は固定化しているとコミュニティから伺った。地域活動へ参加を促す手法だけでなく、民間利用も視野にいたした事業計画を立て、若年層の参加数増を図る必要がある</p>								

17		数値目標						
担当課	市民活動推進課(R2～生涯学習課)		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	家庭の中だけでの子育てではなく、地域活動において老若男女が関わる社会を目指し、家庭・地域・学校の連携をすすめるため、人や資源をつなぐ役割をする「地域コーディネーター」を養成する塾（地域コーディネーター養成塾）を引き続き開催する。（コミュニティ及び学校から推薦を受けた人を対象に、年6回開催予定）							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ及び学校とつながりのあるPTA関係者も推薦してもらい、幅広い人材育成と発掘に努める。 ・地域みんなで活動する姿を子どもたちが目にする機会を増やす。 							
R元事業実績	地域コーディネーター養成塾の参加者を募集し、17名の参加者が年6回の講習を受講した。学んだ知識を学校と地域との連携調整に活かしたり、学校支援ボランティアとして事業に直接参加して、子どもたちの学びの支援に活かしている。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	地域コーディネーターのうち7割が養成塾受講生であり、市内1中学校区・4小学校区において子どもたちの学びの場での支援を実施することができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	市内において「地域学校協働本部」は、現在1中学校区、4小学校区である。地域コーディネーターを含め、多くの学校区において地域学校協働活動が活発に行えるような事業展開を推進していく。							

18		数値目標						
担当課	図書館		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R元事業計画	<ol style="list-style-type: none"> ①男女共同参画週間に併せて特設展を開催し、関連本の展示、貸出を行う。 ②男女共同参画に関する図書等の充実を図り、より啓発できるような図書を精選し、貸出を促進する。 							
R元事業計画に関する具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> ①男女共同参画週間に併せて特設展を開催し、関連本の閲覧及び貸出を促す。 ②男女共同参画に関する図書等の情報収集を行い、魅力ある関連資料の購入、収集を図る。 							
R元事業実績	男女共同参画週間に併せ、男女共同参画週間の標語『男女共同参「学」』をテーマに、市内3図書館で6/18～6/30の期間、特設展として関係する本の展示、貸出した。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	図書がすぐ目に触れる場所でテーマ展示を行うことで、市民に男女共同参画に気軽に触れる機会を提供することができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	男女共同参画週間のテーマ(標語)が決定してから、そのテーマに合った本を選ぶようにしているが、その年の標語によっては、テーマを決めづらいことがあり、合致する本を揃えることが難しい場合がある。関連情報を提供していくために、情報を敏感に入手するように心がけ、精選した図書の購入等に努めたい。							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【3】 男女共同参画の推進に向けた学習機会の提供</p>
-------------	---------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	情報誌「ゆめ」の発行、パネル展、コミュニティや企業研修などを通して、男女共同参画意識が社会の中に浸透しつつある。
市民活動推進課長(R2生涯学習課)	B⇒ B	第3次丸亀市生涯学習推進計画で定めた目標値どおり、地域学校協働本部や地域コーディネーターが順調に増えており、施策の効果が得られたものとして評価する。
図書館長	B⇒ B	男女共同参画推進週間には、その年のテーマに合わせて関連する図書資料を展示し啓発に努めることができた。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	<p>今回、施策実施評価は省略しました 総括講評、担当課へのコメントを参照してください</p>

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。